



鳥森小学校



学校だより 10月号

令和8年 9月 30日発行

153-0051

目黒区上目黒 3-37-27

TEL 03-3719-1794

FAX 03-3719-2857

校長 丸山 智子

鳥森小 HP



心ゆたかで思いやりがある子 よく考えて進んで行動する子 からだも心もじょうぶな子

主体的に学び続ける子どもの育成

～子どもが主語になる授業の構築を目指して～

副校長 伊藤 玲奈

朝夕は少しずつ涼しくなり、校庭の木々にも秋の色合いが感じられるようになりました。季節の移り変わりを感じながら、子どもたちは元気に学校生活を送っています。

9月11日(金)、12日(土)の学校公開には、延べ700人の保護者の皆様にご参観いただきました。ありがとうございました。子どもたちの学習や生活の様子を、ゆっくりとご覧いただけたことと思います。

私が鳥森小に着任したばかりの頃、子どもたちの学習の様子から、鳥森小のすばらしさを感じたことがあります。それは、教師の指示がなくても、一人ひとりが自分の課題を選び、自分で学習を進める力が身に付いているということです。自分は何を学ぶのか、どのように学ぶのかを考え、黙々と学習に取り組む子どもたちの姿から、これまで本校が長年にわたって積み重ねてきた研究の成果を実感しました。

本校は、令和元年度から8年にわたり、文部科学省研究開発学校として研究を進めてまいりました。令和4年度からは「主体的に学び続ける子どもの育成」を研究主題に掲げ、指導者主体の授業づくりから子どもを主語とした学習者主体の授業づくりへの転換を図り、さらに ICT を活用した「複線型の授業」に取り組んできました。これは、授業スタイルを変えることだけが目的なのではなく、教師自身が指導観や授業観を大きく見直しながら、子ども一人ひとりが主語になる授業を目指し、実践を積み重ねてきたものです。

また、この研究において、私たちは、子どもたちが自律した学び手となり、自ら学びを進める力を身に付けていく上での「教師の役割」についても問い続けてきました。「子どもの学びを支える(Support)・導く(Teacher)・助言する(Adviser)・学びを促進する(Facilitator)・成長を支える存在(Family)」として、教師の在り方を「STAFF」という言葉に込め、授業改善に取り組んだ結果、自分に合った学び方を選ぶ力、見通しをもち自ら学びを進める力、他者と学び合う力が育ってきていることを、子どもたちの姿から実感しています。

これまで培ってきた学びを今後の教育活動につなげ、子ども一人ひとりの学びをさらに豊かなものにしていくため、今後も研究を深めてまいります。



10月8日(金)は前期終業式です。前期の成長やがんばったこと、後期に向けて、さらに伸ばしていきたいことなどをご家庭で話題にいただければ幸いです。後期もどうぞよろしくお願いいたします。